4

# 建築物の姿を整える

# 4-1. 建築物の形態・意匠は調和と創造を考える

## 指針の解説

■個々の建築物の形態や意匠が良質である時、その建築物をめぐる人々の生活は豊かな ものとなり、まちなみも自ずと美しいものとなります。

### ■現 状



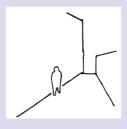
集落は家なみが美しい。



西洋風の建築物も時間 の経過とともにまちの 風景の一部となってい る。



シャッターをおろした 店舗やオフィスが続く と、まちの活気が乏し くなる。



単調で大規模な壁面や塀は退屈な空間を生む。

## 景観形成の技法

### ■都市美をつくる建築物をデザインする

個別の建築物あるいは一団の建築物は、時代を超えて都市美をつくるようにデザインする。

### ■外壁の形態やデザインを工夫する

建築物を利用する人やまちを歩く人に、余裕や楽しさを提供するように、外壁の形態 やデザインを工夫する。

### ■屋根やバルコニーを表情豊かにする

屋根やバルコニーは、美しいシルエット、適度なまとまり、リズム感などをもつよう にする。

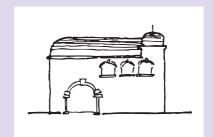
## ■都市美をつくる建築物をデザインする

一団の開発に際しては、建築物 群としてのまとまりや調和に配 慮する。

表情のあるデザインを施し、まちなみやまちかどの情景を育む 建築物とする。

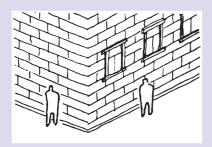


時代を超えても生きつづける良 質なデザインを施す。

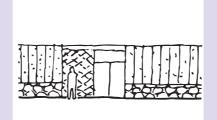


# ■外壁の形態やデザインを工夫する

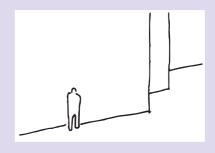
外壁には時間とともに風あいの 増す素材や耐候性のある素材を 用いる。



低層部のデザインは、ヒューマンスケールに配慮し、親しみやあたたかみのある素材を用いる。



大きな壁面は分節化し、単調さ や圧迫感を緩和する。

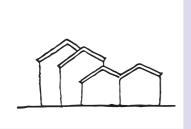


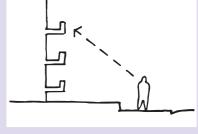
# ■屋根やバルコニーを表情豊かにする

勾配屋根などを用い、家なみの 美しいまちをつくる。

空との接し方をデザインして美 しいシルエットをつくる。







建築物の表情を豊かにするよう

# 4-2. 建築物の色彩はまちなみとしての色あいに配慮する

## 指針の解説

■建築物の色彩は、その場にふさわしいものと、そうでないものがあります。まちなみとしての色あいに配慮し、飽きのこない色、場所にふさわしい色を用いる必要があります。

### ■現 状



成熟した住宅地では植 栽の緑、壁面の白や茶、 瓦のグレーなどの色あ いが調和している。



商業・業務地では広告 物などが、さまざまな 色あいを出している。



幹線道路の沿道には目立つ色の建築物の立地がある。



工場や倉庫で目立つ色 が用いられている場合 がある。

# 景観形成の技法

### ■基調色は控えめにし、まちなみと調和させる

基調色(外壁、屋根など建築物の外観を広く占める色)は落ち着いた色を基本とし、まちなみと調和させる。

### ■強調色はまちなみや建築物全体としてのバランスを考えて用いる

強調色(外壁の一部、窓枠、手すり、広告物など建築物の外観の一部を占める色)はまちなみや建築物全体との調和に配慮して、基調色と適切に組合わせて用いる。

### ■色彩のあふれだしを防ぐ

一つの建築物に用いる色の数や彩度を抑えて、色彩のあふれだしを防ぐ。

## ■基調色は控えめにし、まちなみと調和させる

まちなみとして の色あいを読み 取り、調和する 色彩を用いる。



土、砂、石など の自然素材の色 や近いイメージ の色を使う。



# ■強調色はまちなみや建築物全体としてのバランスを考えて用いる

強調色は小さな面積で用いる。



強調色は基調色 と調和した組合 せで用いる。



# ■色彩のあふれだしを防ぐ

色の数を抑えて、 すっきりとした 印象を与える。



彩度を抑えて、 落ちつきのある まちなみにする。

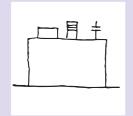


# 4-3. 付帯設備は建築物と一体的にデザインする

## 指針の解説

■建築物の外壁に付帯する設備、屋外階段などは付属物とみなされやすく、デザイン的 な配慮に欠け、建築物の印象を損なっている場合もあります。付帯設備、屋外階段な どは、場所の雰囲気をくみとりながら、多くの人が、好ましい印象をもつように工夫 する必要があります。

### ■現 状



屋上に給水槽や諸設備があふれるビルは雑然とした景観をつくる。



設備類が露出している外壁は騒々しい印象を与える。



工夫をこらしたテント はまちなみにリズムや 彩りを与える。



付け足しの屋外階段は 味気ない雰囲気になり がちである。

## 景観形成の技法

### ■屋上の設備を工夫する

屋上の設備は建築物と一体的にデザインするか、周辺から見えないように配置する。

### ■外壁の設備を工夫する

外壁の設備は建築物や周辺と調和するようにデザインする。

### ■屋外階段を工夫する

屋外階段は建築物と一体的にデザインし周辺と調和させる。

## ■屋上の設備を工夫する

屋上付帯設備、 塔屋などは建築 物と一体的なデ ザインとする。



屋上付帯設備は 壁面の立ち上げ やルーバーなど でかくす。



## ■外壁の設備を工夫する

雨樋は建築デザインと一体化させて目立たないようにする。



日除けテントな どは建築物と周 辺のまちなみに 調和したデザイ ンとする。



# ■屋外階段を工夫する

屋外階段は建築 物と一体的にデ ザインする。



屋外階段の出入口は花や緑で飾り、うるおいのある景観をつくる。



# 4-4. 広告物・工作物は周辺に調和させる

## 指針の解説

- ■広告物は建てる人のモラルやセンスが表れるものです。人の注意を引き付けることに 終始し目立つ広告物ばかりが並ぶと、まちなみは騒々しくなり広告物の効果も薄れま す。広告物は建築物や周辺に調和させる必要があります。
- ■大規模な工作物は目立ちやすいので、それ自体をデザインすることや、配色、植栽などにより周辺に調和させる必要があります。

### ■現 状



大規模工作物は住宅地 などにはなじみにくい。



駅前では、広告物がま ちの活気を感じさせる 反面、雑然とした雰囲 気にもなる。



色数をおさえたコンパ クトな広告物。



幹線道路の沿道では、 広告塔などが騒々しい 印象を与える場合があ る。

## 景観形成の技法

■広告物の大きさや表示・色数は必要最小限のものにする

広告物は、大きさ、表示内容量や色数を、必要最小限に抑えることを基本とする。

■良質なデザインの広告物を用いる

広告物は、建築物と一体的にデザインし、まちなみを印象づけるような良質なデザインを用いる。

■工作物は周辺景観になじませる

工作物は、それ自体をデザインするとともに、配色や植栽などにより威圧感をやわらげる。

## ■広告物の大きさや表示・色数は必要最小限のものにする

広告物は整理・ 集約し、必要最 小限の情報を伝 える。



広告物の色数を おさえ、周辺の まちなみに調和 させる。



## ■良質なデザインの広告物を用いる

広告物は、屋上 や壁面からの突 出をさけ、建築 物と一体的にデ ザインする。



印象に残るデザインの広告物。



# ■工作物は周辺景観になじませる

周辺景観になじ むようにデザイ ンする。



配色、植栽などにより威圧感を やわらげる。

